

【経歴】

I 学歴

2004年3月 大東文化大学大学院法学研究科政治学専攻 博士後期課程修了 博士(政治学)

II 職歴

2007年8月 中国 吉林華橋外国語学院(単科大学) 日語系講師(2009年7月まで)

2009年8月 中国 浙江外国語学院(単科大学) 日語系講師(2010年7月まで)

2011年10月 東京早稲田外国語学校 非常勤講師(現職)

2013年4月 大東文化大学 法学部政治学科 非常勤講師(現職)

III 所属学会・研究活動等

2001年12月 日本政治学会 会員

2008年4月 大東文化大学 国際比較政治研究所 客員研究員

【研究業績】

I 博士学位論文

「土田杏村の文化主義と時代思潮」、2004年3月。

II 著作

〈共著〉

①「戦間期のアジア・ブロック論に関する一考察——土田杏村の「大アジア経済ブロック」構想を中心に」、武田知己・萩原稔編『大正・昭和期の日本政治と国際秩序——転換期における「未発の可能性」をめぐって』所収、思文閣出版、2014年。

②「近代日本における「文化主義」の登場とその展開——桑木巖翼・金子筑水・土田杏村」、萩原稔・伊藤信哉編『近代日本の対外認識 II』所収、彩流社、2017年。

III 学術論文

①「土田杏村の文化主義と時代思潮(一)——『文化主義原論』を中心として」、『大東法政論集』第9号、2001年3月。

②「土田杏村の文化主義と時代思潮(二)——大正期日本における「多元的社会学説」の受容形態」、『大東法政論集』第10号、2002年3月。

③「土田杏村の文化主義と時代思潮(三)——国策論的構想の提示」、『大東法政論集』第11号、2003年3月。

④「大正期における多元的社会学説の受容形態に関する一考察——文化主義の提唱者土田杏村を中心として」、政治思想学会『政治思想研究』第3号、2003年5月。

⑤「土田杏村の社会哲学の体系と共同社会的理想」、『大東法学』第14巻第2号、2005年3月。

⑥「第一次世界大戦後における「民衆」的「国策論」の登場——土田杏村の『島国家としての

日本の将来』を中心に」、『大東法学』第15巻第2号、2006年3月。

⑦「大正期日本における中国ナショナリズムへの視点——土田杏村・吉野作造・清水安三」、大東文化大学国際比較政治研究所『国際比較政治研究』第18号、2009年3月。

⑧「吉野作造の理想主義思想と大正理想主義の射程——土田杏村との思想的関係を中心に」、『大東法学』第20巻第2号、2011年4月。

⑨「近代日本の理想主義と宗教——土田杏村と吉野作造を中心に」、日本ピューリタニズム学会『ピューリタニズム研究』第7号、2013年3月。

IV学会・シンポジウム等

①国際共同シンポジウム：大東文化大学・日本学術振興会・東北師範大学共催「日本と中国の明日への架け橋—言語・文化・社会、日中比較を基軸として—」（於：中国 東北師範大学、2008年11月1日）における報告「戦間期日本の中国認識と日中提携論——土田杏村の『日本支那現代思想研究』を出発点として」。

②日本政治学会「分科会E4 日本における再分配の政治：政治史と政治思想史の接点として」（於：日本大学、2009年10月12日）における報告「大正期・昭和戦前期の『再配分』の思想——理想主義と社会主義の交差点における社会政策論の展開」。

③日本ピューリタニズム学会「自由論題」（於：聖学院大学、2012年6月16日）における報告「近代日本の理想主義と宗教——土田杏村と吉野作造を中心に」。

④日本ピューリタニズム学会「自由論題」（於：青山学院大学、2015年6月20日）における報告「大正期における「文化主義」の提唱——桑木巖翼の文化国家論を中心として」。

⑤日本国際文化学会「共通論題① 近代日本の対外認識——20世紀前半の知識人は「国際社会」をどのように観たのか」（於：早稲田大学、2016年7月16日）における報告「近代日本における「文化主義」の登場とその展開——桑木巖翼・左右田喜一郎・金子筑水・土田杏村」。